

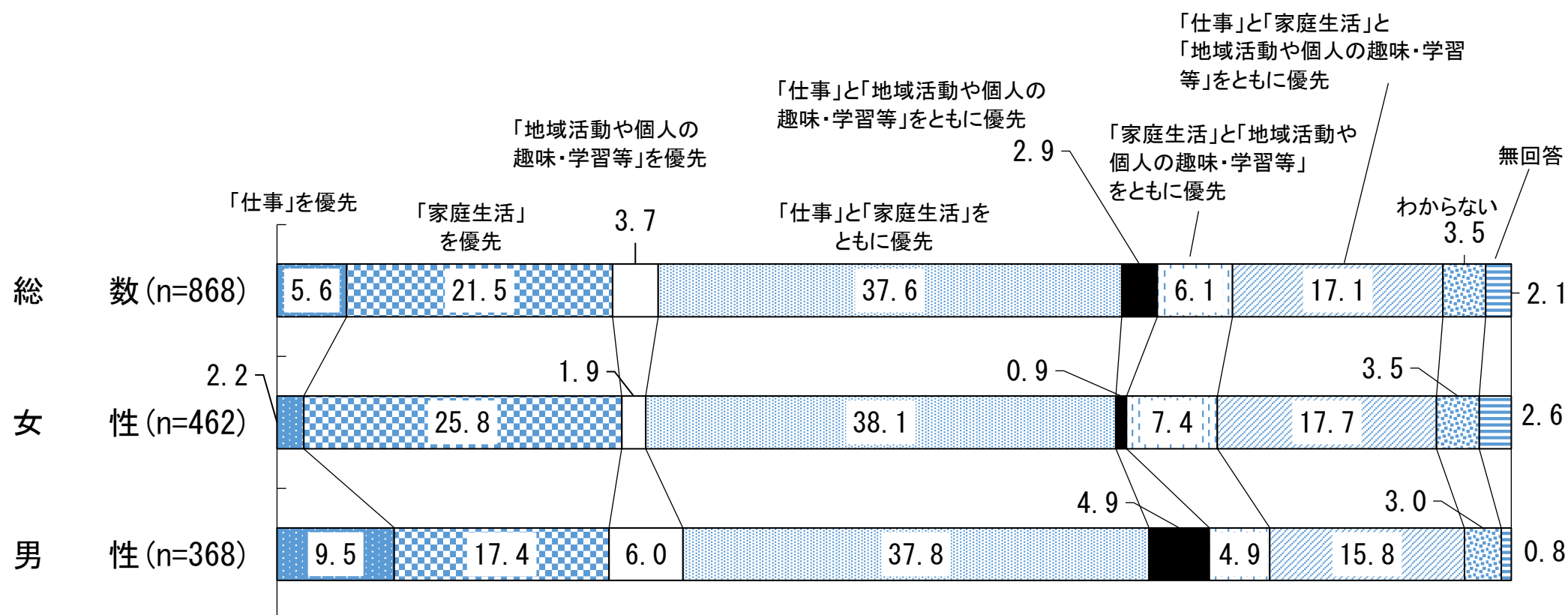
4 仕事と生活の調和

問8 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度についてお聞きします。

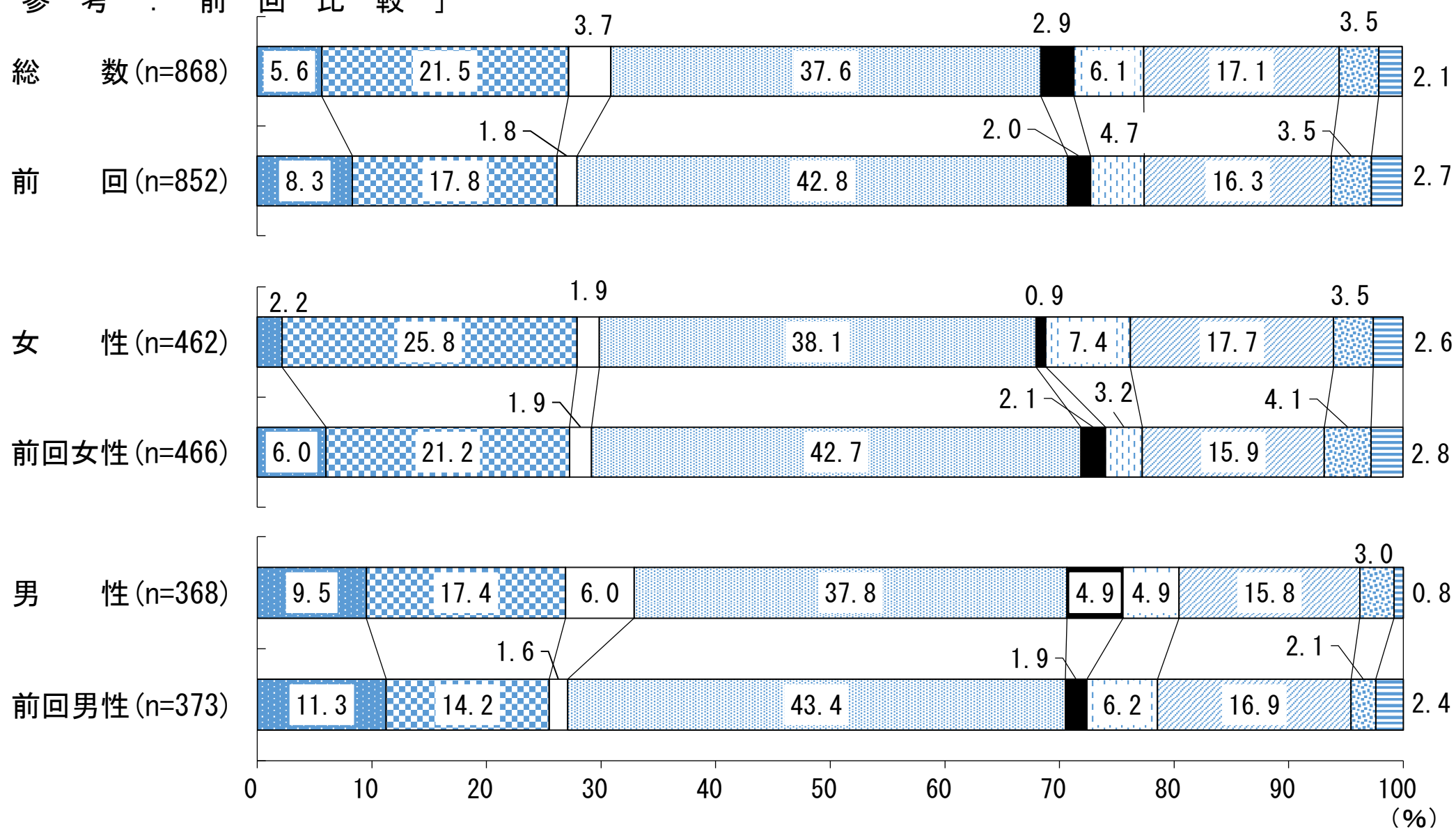
(1) あなたの理想(希望)に最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・理想では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が37.6%で最も高く、次いで「「家庭生活」を優先」が21.5%となっている。
- ・性別にみると、男女共に「「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が最も高くなっている。

図8-1 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度(理想)

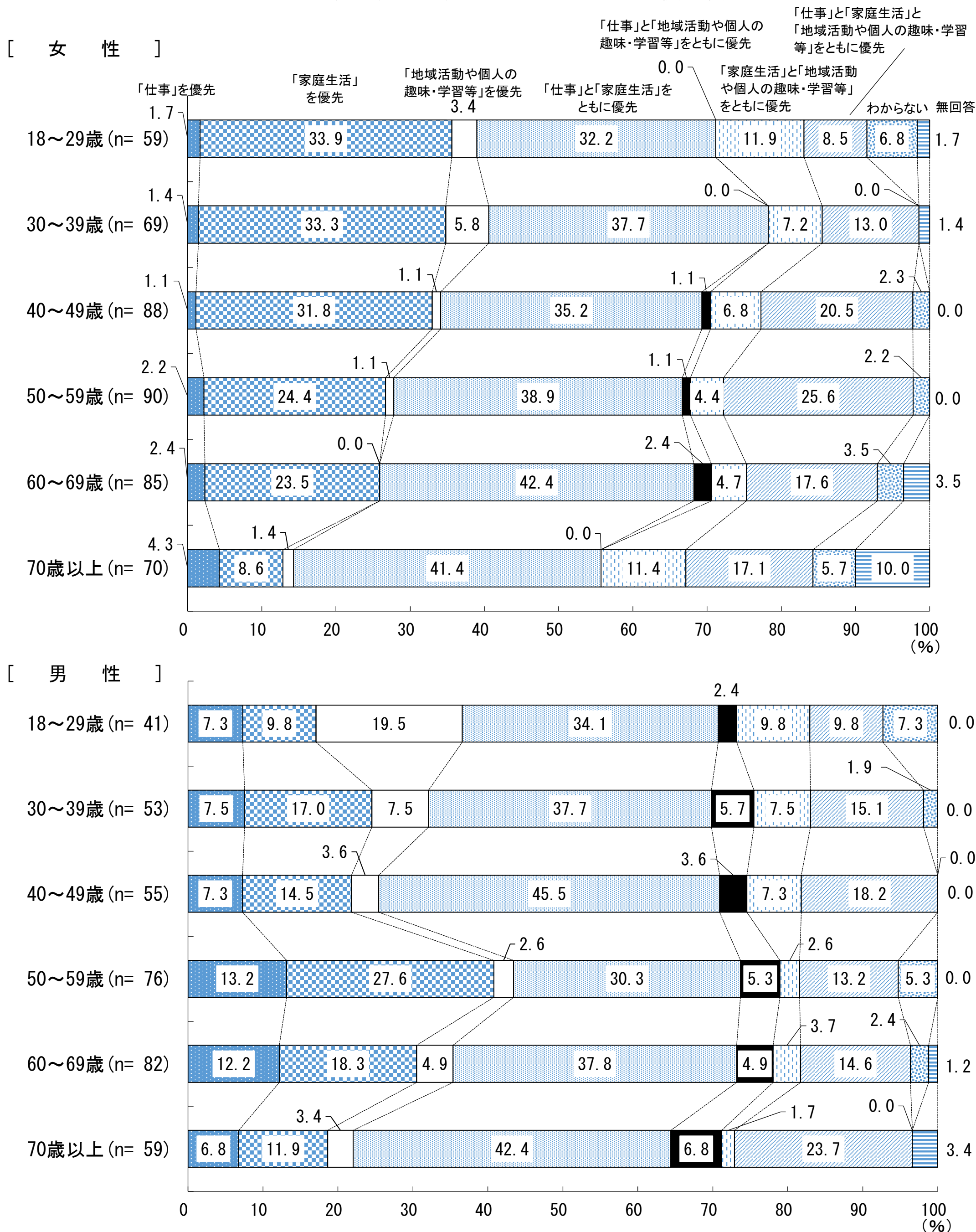


[参考 : 前回比較]



- ・性別・年代別にみると、20歳代以下の女性が「家庭生活」を優先」と「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が拮抗し、その他の世代では「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が最も高くなっている。
- ・女性は、若い年代ほど「家庭生活」を優先」が高くなっている。

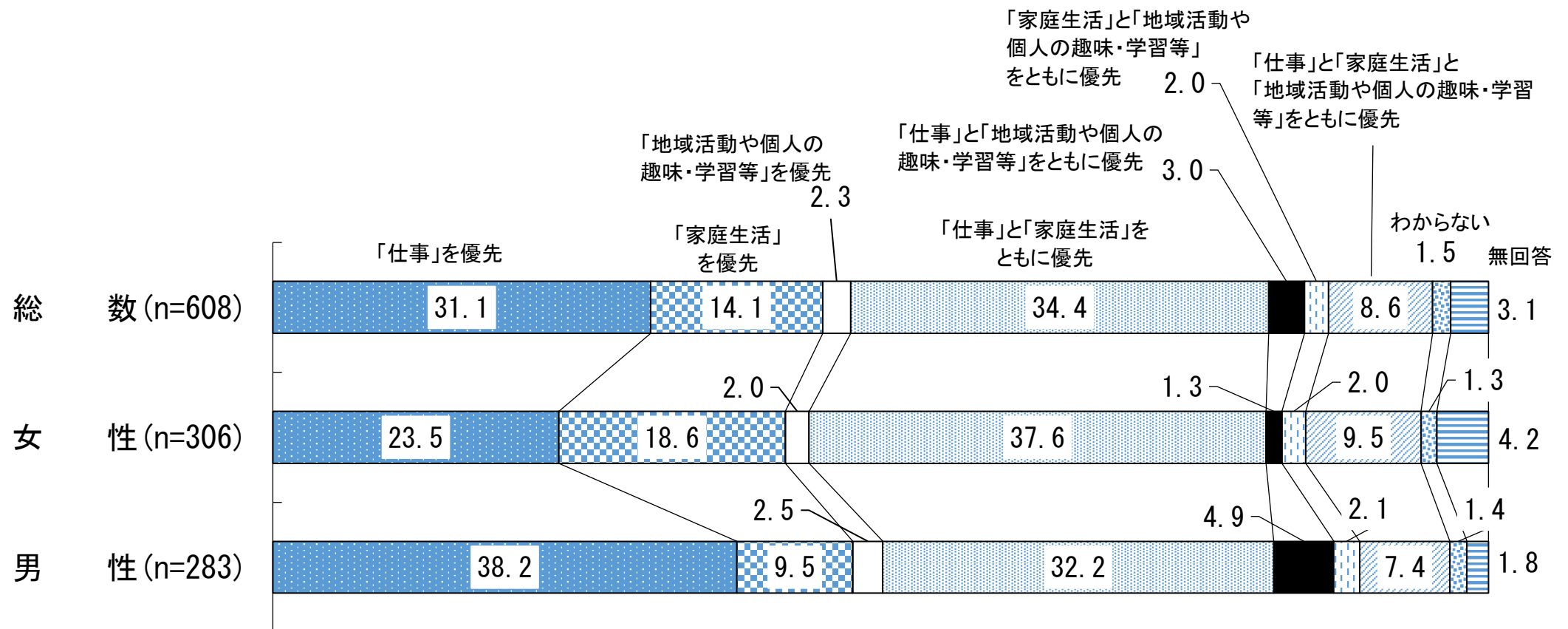
図8-2 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度（理想）



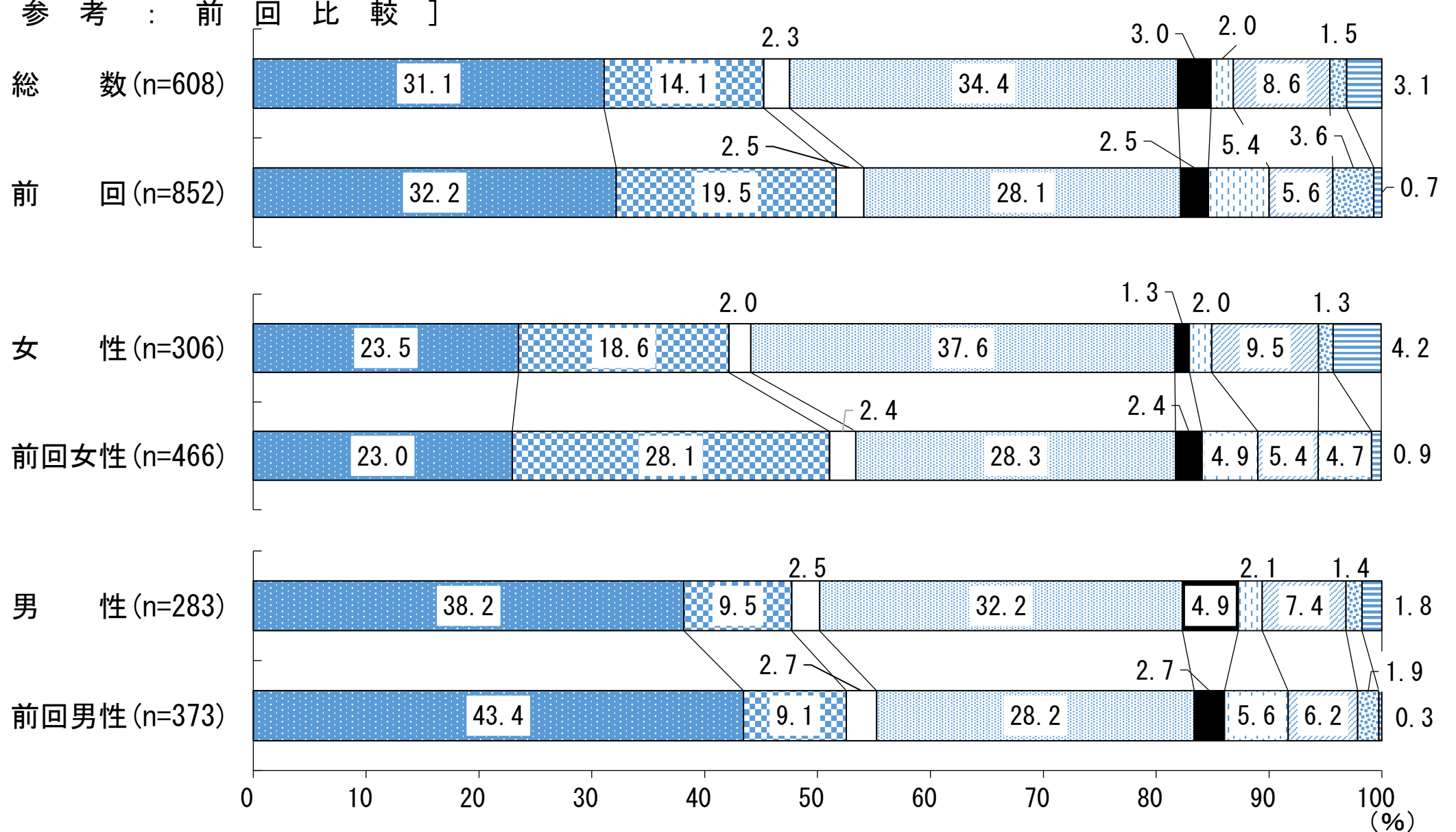
(2) 現在仕事をしている方にお聞きします。
 あなたの現実（現状）に最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。
 →現在仕事をしていない方は、問9へ

- ・現実では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が34.4%で最も高く、次いで「「仕事」を優先」が31.1%となっている。
- ・性別にみると、女性は「「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が、男性は「「仕事」を優先」が最も高くなっている。

図8-3 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度(現実)



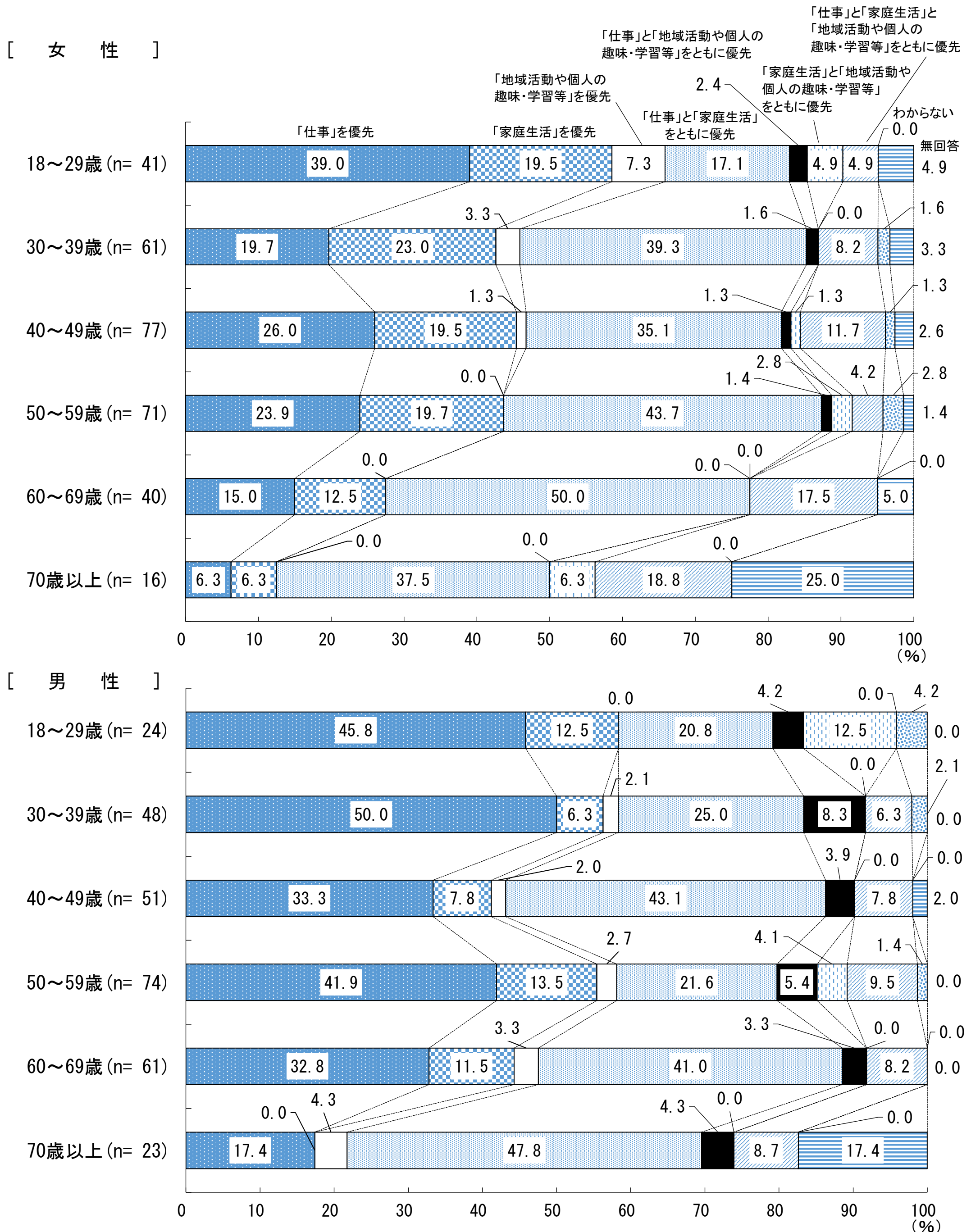
[参考 : 前回比較]



(注) 前回調査では、「現在仕事をしていない方は、仕事をしていた時の状況」で回答

・性別・年代別で見ると、20歳代以下の女性と、30歳代以下及び50歳代の男性が「「仕事」を優先」が最も高く、その他の年代では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が最も高くなっている。

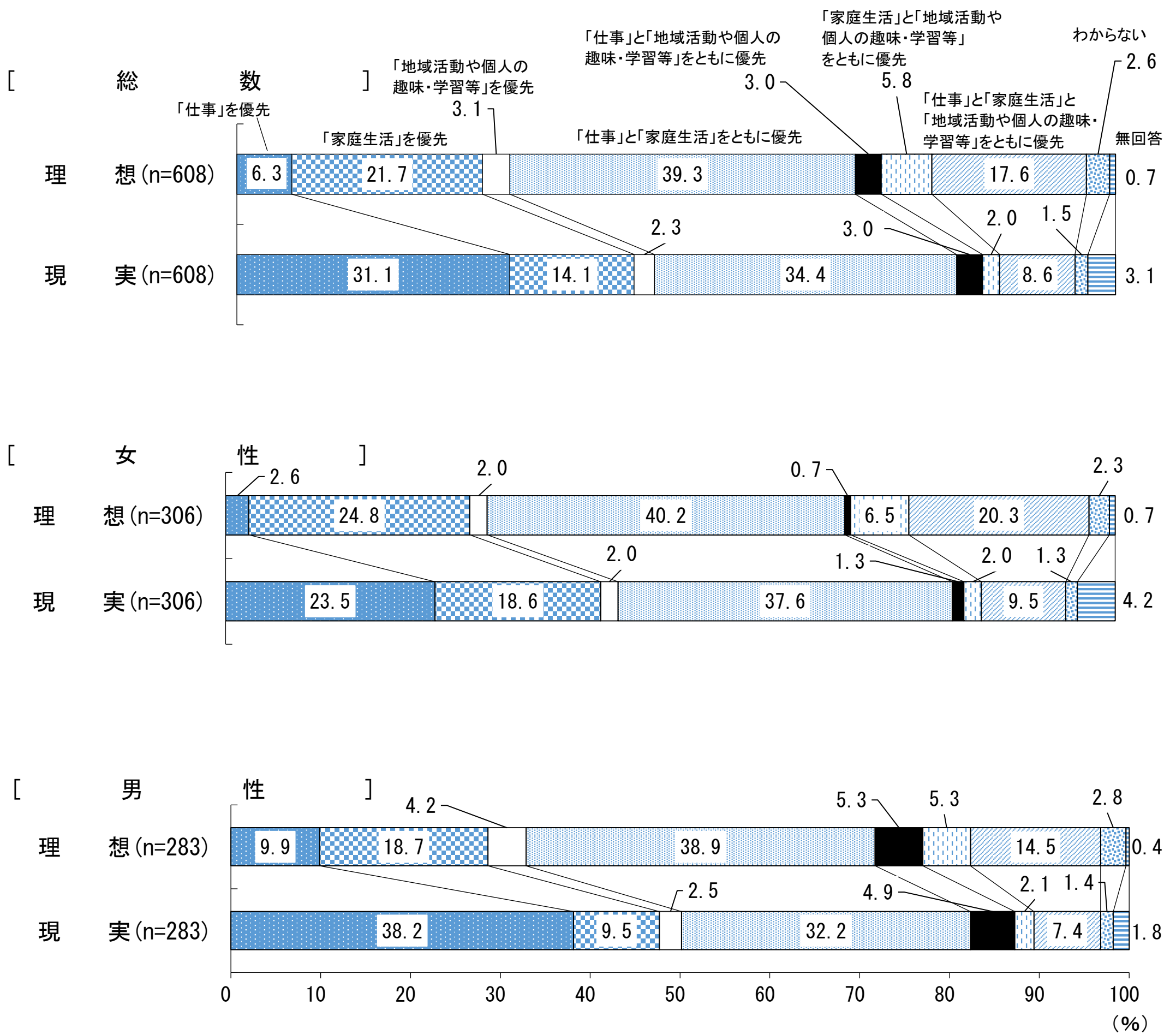
図8-4 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度（現実）



仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度 ～現在仕事をしている人の理想と現実～

- ・現在仕事をしている人の、仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度について、理想と現実を比較したところ、「仕事」を優先のみ、現実が理想を大きく上回っている。
- ・性別にみると、男女共に「仕事」を優先が、現実が理想を大きく上回っている。

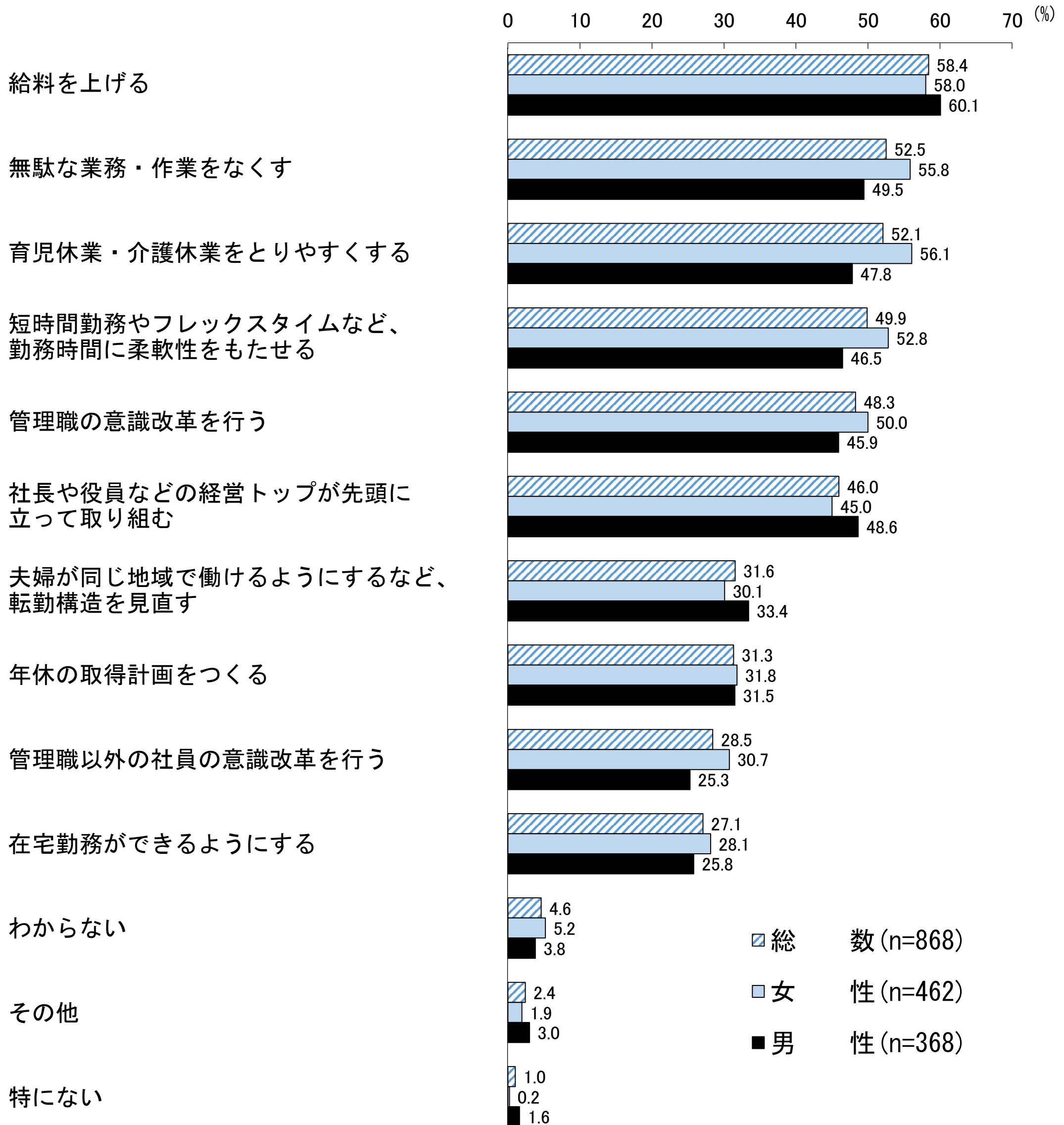
図8-5 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度 理想と現実
～現在仕事をしている人～



問9 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）が実現された社会に近づくためには、企業にどのような取組が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

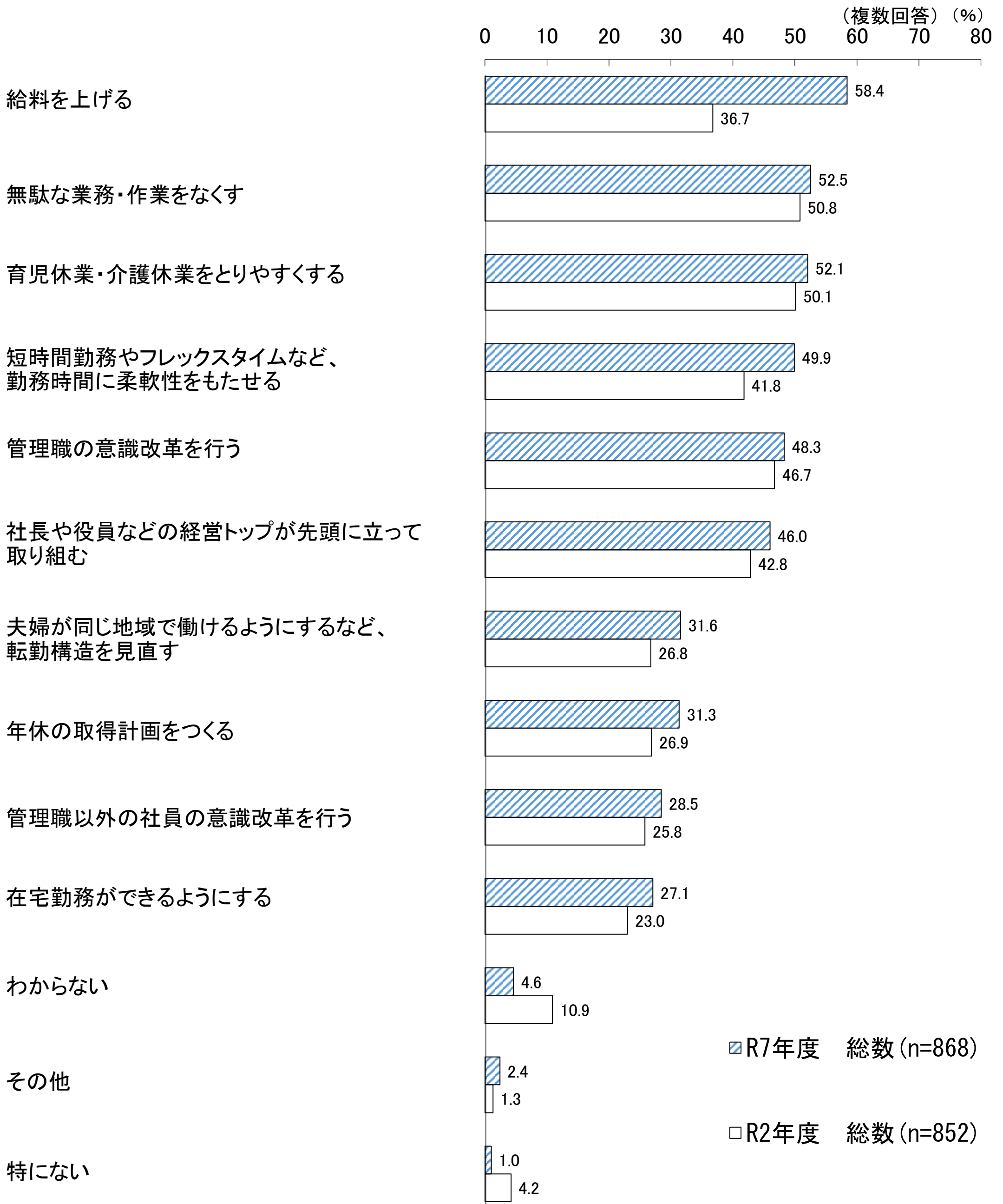
- ・「給料を上げる」が58.4%で最も高く、次いで「無駄な業務・作業をなくす」が52.5%、「育児休業・介護休業をとりやすくする」が52.1%となっている。
- ・性別にみると、男女共に「給料を上げる」が最も高く、次いで女性は「育児休業・介護休業をとりやすくする」、男性は「無駄な業務・作業をなくす」となっている。

図9-1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に必要な企業の取組 (複数回答)



【参考：前回比較】

図9-2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に必要な企業の取組(前回比較)



(注)回答選択肢 今回調査13項目、前回調査19項目